

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	御幸日中活動センター	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員30名） 在籍者数 20名（平成31年3月31日現在）																																										
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th>収支差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>89,345千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>85,274千円</td> <td>4,071千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>63,448千円</td> <td>人件費</td> <td>60,616千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>14,795千円</td> <td>事務費</td> <td>13,035千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>8,497千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入</td> <td>8591千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>3,126千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,511千円</td> <td>施設整備等支出</td> <td>0千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>89,345千円</td> <td>合計</td> <td>85,274千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>			収入		支出		収支差額	福祉事業活動	89,345千円	福祉事業活動	85,274千円	4,071千円	給付費	63,448千円	人件費	60,616千円		川崎市単独扶助	14,795千円	事務費	13,035千円		指定管理委託料	0千円	事業費	8,497千円		拠点区分間繰入	8591千円	拠点区分間繰入金	3,126千円		その他	2,511千円	施設整備等支出	0千円		合計	89,345千円	合計	85,274千円	
収入		支出		収支差額																																							
福祉事業活動	89,345千円	福祉事業活動	85,274千円	4,071千円																																							
給付費	63,448千円	人件費	60,616千円																																								
川崎市単独扶助	14,795千円	事務費	13,035千円																																								
指定管理委託料	0千円	事業費	8,497千円																																								
拠点区分間繰入	8591千円	拠点区分間繰入金	3,126千円																																								
その他	2,511千円	施設整備等支出	0千円																																								
合計	89,345千円	合計	85,274千円																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを要する方を含め重度の利用者を多く受け入れ、看護師が常駐できるような体制を整備するとともに、嘱託医による健康相談を定期的実施し、重度障害の利用者の状況変化の把握等に努めている。また、利用者意見を取り入れた外出活動や、月一回のフィットネス、年4回のフラワーアレンジメント等、身体機能の維持・向上等に取り組んでいる。 ・自閉症支援のための外部アドバイザーの定期的な来所により、支援方法のアドバイスをもらい、職員の資質向上も踏まえた、利用者の充実した地域生活の確保に努めた。 																																										

3. 評価（評価段階：5～1、標準：3、加点割合：5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・医療的ケアが必要な重度重複障害の利用者の方を積極的に受け入れるため、看護師の雇用を進め、看護師が常駐できる体制を整備した。そのため、喀痰吸引や胃ろうの処置の対応ができています。 ・特別支援学校等卒業生対策として、学校や家族と丁寧な調整を行い、2名の卒業生を受け入れた。また、卒業予定者8名の実習を受入れ、次年度の利用につながるよう努めた。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、無駄な残業の削減や看護師の直接雇用などによって、人員配置をより効率的に行うことで人件費を抑制した結果、予算よりも決算が下回った。 ・収入については、利用者の一時欠席等で当初の通所日数を確保できないこともあったが、加算の算定要件を満たすことで収入を確保し、予算よりも決算が上回った。 ・監査法人からの監査を受ける等、社会福祉法に基づく適切な会計手続が行われている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・創作活動では、新しい商品開発を行うなど利用者の生産意欲の向上に努め、また作業においても、活動種目を増やし、一人一人の状況に応じた参加可能な作業工程を提供している。 ・身体活動ができるよう、ボールゲーム等を導入し、利用者の意見を取り入れたスポーツ大会を実施した。スポーツ大会については、利用者の御家族との交流等につながっている。 ・毎日終礼時に、ヒヤリハット等の改善点を確認しており、また事故報告についても、再発防止策を含め、確認し共有する体制を整えており、サービスの質の向上に努めている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症支援の外部アドバイザーの意見をもらうなど、外部からの視点を取り入れ、支援に活かしていく環境整備を行い、職員の資質向上を図っている。また、強度行動障害研修に参加し、資格取得をするなど、職員のスキルアップに努めている。 ・緊急時対応として、AEDの配備及び研修会の実施、活動中の行方不明時の捜索マニュアルの整備等、緊急通報体制を整えている。 ・防災訓練を年に2回行い、うち1回は上階の老人いこいの家とともに実施して、館全体の安全管理体制を確認している。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・各種保守・点検、警備等については、委託により仕様書に沿って適切に実施されている。また、活動中の施錠確認や、最終帰宅の職員が点検マニュアルを基に防犯確認できるよう、防犯対策を講じている。 ・外溝の清掃は、職員自身が定期的に行い、美観を損なわないよう努めている。なお、施設内の清掃に関して、障害のある清掃員を直接雇用しており、「サービスを受ける対象としての障害者」という一面に意識が偏らないように考えられていることは評価できる。 					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準.:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・AED講習会を老人いこいの家と合同で開催するなど、地域の方々へ広くAEDの活用ができる取り組みは、事業所の特性や専門性を地域に還元できることとして評価できる。また老人いこいの家との連携として、事業所での作品展示をさせてもらうことで、利用者自身のモチベーションの向上につながることも、施設や創作品だけでなく利用者のことも知ってもらう機会となっている。

・地域に根差した施設を目指し、地域自立支援協議会への積極的な参加や、AEDの講習会開催を通して、地域の課題に協働して取り組んでいることは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・利用者の意見・要望を収集するための手法として、利用者満足度調査の実施に努めること。

・医療依存度の高い重度重複障害のある利用者の受入れを積極的に行っていることについては評価できるが、30名の定員を充足することについては引き続き努力が求められる。